

お兄さん、お姉さんと 一緒にうれしい

レオニア・レクリエーション・
キンダーキャンプ
USスポーツ・インスティテュート・
マルチスポーツキャンプ

申し込み先: Borough of Leonia Department of Recreation
370 Broad Ave, Leonia, NJ 07605
Tel (201) 592-5783

www.leonianj.gov
開催場所: Anna C. Scott School
期間: 6月29日～8月7日 (9:00-14:00)
費用: 325ドル(レオニア在住者以外は475ドル)

申し込み先: US Sports Institute
12 Maiden Ln, Suite 3, Bound Brook, NJ 08805
Tel (732) 563-2520

ussportsinstitute.com
開催場所: Wood Park, Leonia
期間: 8月24日～8月28日 (9:00-13:00)
費用: 169ドル

村上 拓くん(5才)

9月よりキンダーガーデンに上がる拓くん、入学前からお友だちができればとお母さんが選んだのが、地元レオニアがキンダーガーデン入園前の子どもを対象に行っているデイ・キャンプ。開催場所も普段授業が行われる学校だったため、新学期からの環境にも慣れるよい機会となった。

毎週水曜はプールの日だっ



ビーチにて

たほか、フィールドトリップやクラフト作りなど、アクティビティーが盛りだくさん。新しいお友だちと仲良く過ごせたのももちろんだが、

「先生以外にも、高校生のボランティアが4、5人つくのですが、お兄さん、お姉さんと一緒に何かをするというのが、子どもには楽しかったようですね」とお母さん。4才のときにもこのキャンプに参加した拓くんを、ボランティアのお兄さん、お姉さんも覚えていてくれて、すんなりとキャンプのスタートが切れたそうだ。

夏休み最後の週には、スポーツキャンプへも参加した拓くん。このキャンプは北東部各州で開かれており、野球、サッカー、ラクロスなど15種目以上のスポーツを1週間で体験できる。スポーツを通して、拓くに体力がつい



大きな魚をゲット!

たと感じているお母さん。

「なぜか最終日に水鉄砲での打ち合い合戦があったのですが、これは相当おもしろかったみたいですよ」

また、5～7才の子どもと一緒にスポーツを行うが、

「5才だったので、ここでも自分よりちょっとお兄さん、お姉さんの子どもたちと一緒にプレーする、というのがうれしかったみたいですですね」



マウンテンバイクにも挑戦

個性を生かした教育で 創造力と積極性を養う

グリニッチ国際学園サマースクール
バイリンガルコース

グリニッチ国際学園
申し込み先: Greenwich Kokusai Gakuen
521 E. Putnam Ave, Cos Cob, CT 06807
Tel (203) 629-5567

www.greenwichkokusai.org
開催場所: 上記に同じ
対象年齢: 2～5才
(2才は半日、3才以上は1日コース)
期間: 6月29日～8月21日(1～4期/2週間ごと)
費用: 半日370ドル、1日540ドル(各1期分)

井上 龍之介くん(4才)

2008年4月に渡米したばかりの井上さん一家。「実際に訪れてみて、こじんまりした雰囲気が入園を決めたグリニッチ国際学園で、サマーキャンプに参加することに。

キャンプでは、工作やクッキングなどを楽しんだ龍之介くん。週ごとにテーマがあり、メキシカンウィークにはメキシカンハットやサボテンのマラカスを作ってダンスもした。「七夕のときは笹がなかったので、裏庭で拾ってきた枯れ木に短冊を吊るしたみたい。とってもユニークです



大好きなビーチで満面の笑顔

よね」子どもが自分たちでチケットを作ったパーティーに親御さんたちを招待したりと、子どもたちを主体とした手作り感溢れるイベントもあったようだ。

なかでも一番思い出に残っているのが、ビーチで船に乗ったフィールドトリップ。出かける前は不安がっていたという龍之介くんだが、船に乗ってしまったら「お母さん、バイバイ!」と自信満々の顔に。「本人よりも私の方が心配していましたから、逆に私の方が『行っちゃうの?』みたいな寂しい気分になってしまいました。でも、船に乗り込んだときの『僕、やるぞ!』みたいな息子の顔は、今で

も忘れられません。相当楽しかったようで、踊りながら帰ってきました」その後も龍之介くんのリクエストにより、親子3人で同じビーチを何度も訪れたほどだ。

内気な性格で、お母さんの足もとから離れ

られなかった龍之介くん。キャンプを終える頃には積極的になり、わんぱくな一面も見せるようになった。



「キャンプでは子どもたち一人ひとりを主役にしてくれました。引っ込み思案で、いつもみんなの後ろにいるような子も放っておかない。無理矢理前を出すようなことはしないけれど、個性を大切にしながら引き立たせてくれます」

日本では、学校での出来事を家で報告することはほとんどなかったそうだが、キャンプに参加してからは毎日お母さんにその日のことを話すようになった。

このキャンプで大きな成長を遂げた龍之介くん。今年の夏もバイリンガルコースか、英語の教育に重点をおいたESLコースに参加する予定だ。